

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プライマル・スクリーム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プライマル・スクリーム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：プライマル・インパルス

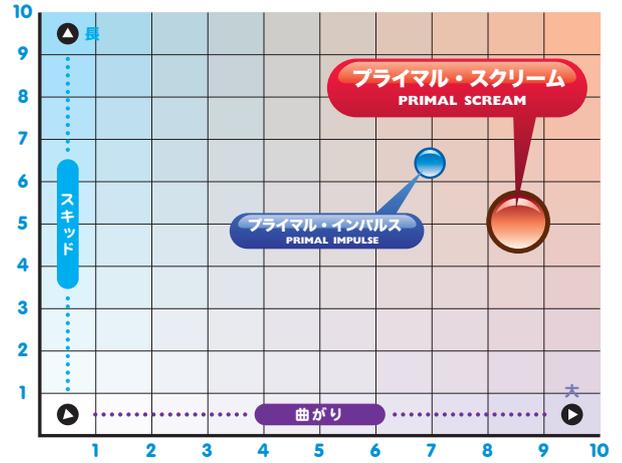
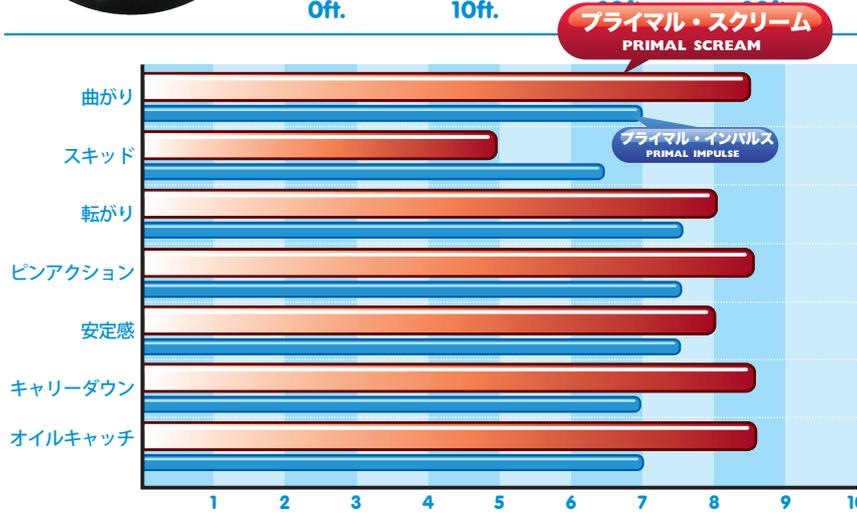
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

私は個人的にもMOTIVファンでもあり、試作品を含め多くのMOTIV社のボールを投げてきました。GT1やCRUEL気に入っているボールも数多くある中で、これほど別格に感じるボールと出会ったのは初めてです。キャッチ系のカバーとしてオイルに対しての強さは十二分にあり、バックエンドでの角がでる向きの変わり方は暴れるというよりは扱い易さも共存する、「このカバーストックにあつてのこのコア」と文句のつけようがないパーフェクトな仕上がりだと自信を持って言えます。先日のミーティングでABS専属山本勲プロがこのPRIMAL SCREAM Test Driveで4G1,080点という圧巻の点数を叩き出しました。山本プロは私と同様なイメージをSCREAMに感じ、この先早めのコンディション用にレポートに組み入れ、トーナメントに望むとも言っていました。

このボールを考察するに、先代IMPULSEから続く特異性をもつIMPULSEコアは、ネジれをバックエンドでの明確なシャープさに変えられる性能を持ちますが、採用されたWhiplash Solid Reactiveと組み合わせることでオイルに対しての強さとバックエンドでの鋭い動き双方を兼ね備える性能として出来上がっており、MOTIV社開発担当者からのSCREAMに対する強いメッセージも投球することで感じる事ができました。

先日発売された2CRUELとの比較投球も行いましたが、双方オイルに対しての強さは同等ぐらいで、先での動きはSCREAMの方が明確に動き、このようなリアクション形態は日本のマーケットに必要な不可欠であり、爆発的な人気を得られる性能であることも長年ボール開発に携わる人間として表現せずにはいられません。

このPRIMAL SCREAMを投げれば、きっとMOTIV社に対しての認識を変えなければならないでしょう。

特記事項

オイルキャッチと鋭いと思わせるバックエンドモーション、私の中では”多角的に捉え死角”なしの完璧さを感じるボール。限定個数につき完売の可能性大です。